



令和5年5月26日
北九州市上下水道局
海外事業課

カンボジア国シェムリアップ・コンポントム合同竣工式 開催

- シェムリアップ上水拡張事業は、本市として初の海外水ビジネス受注案件である。本市は詳細設計、入札補助、施工監理のコンサルタント業務として、北九州市海外水ビジネス推進協議会^(*) (KOWBA) 会員企業である株式会社日水コンを代表企業とする3社JVが受注し建設工事を行った。
- コンポントム上水拡張事業は、海外における取水・浄水・配水施設建設から運転維持管理までを総合的に担う水道事業として、日本で初めて採択された案件であり、KOWBA 会員企業である株式会社クボタ建設を代表企業とする4社SPC（特別目的会社）が受注し建設工事を行った。本市は、株式会社クボタ建設から要請を受け技術支援等の業務を受託した。
- この度シェムリアップ新浄水場の完成にあわせ、2023年5月22日にこれら2つの浄水場の完成を祝う竣工式が盛大に開催された。（関係者約1,500名が参列）

1 竣工式概要

- シェムリアップ新浄水場の完成にあわせ、2022年3月に完成したコンポントム新浄水場との合同竣工式が開催された。
- 竣工式は、シェムリアップ州に新たにJICA有償資金協力事業で整備された新浄水場の敷地内で開催された。日本側の代表として植野特命全権大使が出席され、本市からは兼尾上下水道局長、江口海外事業課長、他職員2名及びKOWBAから5名が式典に参加した。
- フンセン首相の代理で出席したティアバーン副首相は、式典において、「日本政府によるこれまでの支援に感謝したい。今後の人口増加に対応するため、今後もカンボジア政府として上水道普及を進めたい」と語った。
- 併せて、カンボジアの水道セクターに対する功労者への勲章授与式が開催され、これまで貢献のあった両国の関係者に勲章が授与された。

2 両州の水道事情概要

- この度整備された新浄水場の浄水処理能力水量はそれぞれ、シェムリアップ新浄水場が6万トン/日、コンポントム新浄水場が7千5百トン/日である。
- コンポントム州では、人口増により水需要が増加しており既設浄水場では水が不足し、水道普及率が伸び悩んでいた。新浄水場稼働後、現在は日量約2千トンを既設浄水場に応援送水し約18,000人4,200世帯への水供給を可能とした。
- シェムリアップ州では、この度日量6万トン規模の浄水場が整備された。これにより安全かつ安定的な上水道サービスの普及と生活環境の改善、観光産業の振興に寄与する。主要観光地であるアンコールワ

ット遺跡群を擁するシェムリアップ州では、観光客向けのホテルの多くが地下水を汲み上げて使用していることに起因し、遺跡や寺院の深刻な地盤沈下が起きており、この地下水くみ上げにより地盤沈下の抑制にも寄与するものと期待される。

3 竣工式について

- ・日時： 2023年5月22日(月) 8:00～10:00
- ・会場： シェムリアップ市 シェムリアップ新浄水場内
- ・参加者： 約1,500名(カンボジア側 約1,470名、日本側 約30名)
- ・式次第：
 - カンボジア国上級大臣兼工業科学技術革新大臣 チャンプラシッド閣下スピーチ
 - 在カンボジア日本国大使館 特命全権大使 植野篤史 大使スピーチ
 - カンボジア国副首相兼国防大臣 ティアバーン閣下スピーチ
 - 勲章授与式
 - テープカット、浄水場運転開始式

4 プロジェクト経緯

[シェムリアップ上水道拡張事業]

2007年 案件形成

2011年 北九州市上下水道局がビジネス案件として初めて受注(可能性調査)

2017年 事業開始、上下水道局はコンサルタント業務を受注(基本・詳細設計・施工管理)

2023年 竣工

[コンポントム上水道拡張事業]

2015年 カンボジアにおける初の事業・運営権対応型無償資金協力^(*)案件形成

2018年 事業開始、上下水道局は技術支援・指導業務を受注

2022年 竣工

5 竣工式典写真等



竣工式の様子



(前面左) 植野特命全権大使
(前面右) ティアバーン副首相



チャンプラシッド大臣と本市参加者



森元水道局長の受勲



新浄水場施設視察



新浄水場施設視察

(*1) … 海外での水ビジネス展開を目的とした官民連携組織
(令和5年4月1日現在140社加盟)

(*2) … 施設建設から運営・維持管理までを包括的に実施する事業

【お問い合わせ】

北九州市上下水道局海外事業課

担当：林（はやし）、江口（えぐち）

電話：093-582-3111